東北復幸祭
Tohoku-
la renaissance
2011-2014 le sourire retrouvé du Japon

パリ市内
8月28日から、パリ市内の地下鉄を中心に600
枚のポスターが貼られた。

復幸祭前日
8月29日、ようやく生徒がパリにそろった。
1日でブースの準備とリハーサルをやることに。

復幸祭前日
100の物語のトーテム。ベース部分の規格が
想定と異なるため、大苦戦。

復幸祭前日
オープニングで流す映像のチェック。

復幸祭前日―キックオフミーティング
OECD日本政府代表部兒玉大使公邸で
キックオフミーティング。

オープニング―VIP挨拶
いよいよ開幕。福島大学長の司会でVIP挨拶。パリ
副市長、兒玉大使、玉木次長、山中次官ら。

オープニング
生徒プログラムの開始。
威勢よく大漁旗をはためかせる生徒達。

オープニング
開会を告げるホラ貝の音。

オープニング―開会宣言
生徒リーダー、サブリーダーによる開会宣言。

オープニング―語り
被災体験の「語り」。津波被害や震災後の生徒の生活などを率直に語り、大きな感動を呼んだ。

オープニング―紹介
各地域のアトラクションの紹介。

イメージソング「希望の環WA」の披露。シンガーソングライターmiwaさんの手による。

生徒の地域ブースや各県、賛同企業、大学などのブースが会場を囲み、連日賑わった。

戸倉地区（宮城）に伝わる鹿子躍。津波をのりこえ、奇跡的に復活したこの舞は感動を呼んだ。

天旗――気仙沼
気仙沼の天旗（凧）。国内外の人々に書き込んで
もらい、500枚制作した。

会場全景
8月のプレイベントで子どもたちがつくった「ビニリ
アン」。パリでも人気だった。

会場全景

会場全景
トロカデロ広場から見た会場風景。
賑わっている様子がよくわかる。

会場全景
成功指標である目標来場者数15万人に対して
149,664人（推計）が来場！

パリ市長の視察
アンヌ・イダルゴパリ市長が視察。副市長時代より
本プロジェクトを支持。

パリ市長の視察
「この公園を皆さんにお貸しすることは、パリ市とし
てとても意義深いこと」とパリ市長。

さんまdeサンバ
女川町のさんまdeサンバ。ステージ周りが
踊りの輪に。

さんまdeサンバ

さんまdeサンバ

さんまdeサンバ

ドミノ倒し
最後のドミノ倒し。風が強く立てても立ててもすぐに倒れてしまう。焦るドミノチーム。

ドミノ倒し
周りの大人たちもドミノステージに入って
ドミノを風から守る。

ドミノ倒し
5分遅れで、最後のドミノも大成功。あたりから大きな拍手が沸き起こる。

エンディング
エンディングを待つ来場者。多くの人たちが「環」
のチームTシャツを着用。

エンディング
世界へのメッセージ。準備していた原稿を置いて、
20分にわたって語り続けた。

エンディング
「みんなで環になりましょう！」の呼びかけに、輪を
作る来場者。数百人の巨大な環。

エンディング
「環WA」を叫ぶ生徒達。
チーム環、恒例のパフォーマンス。

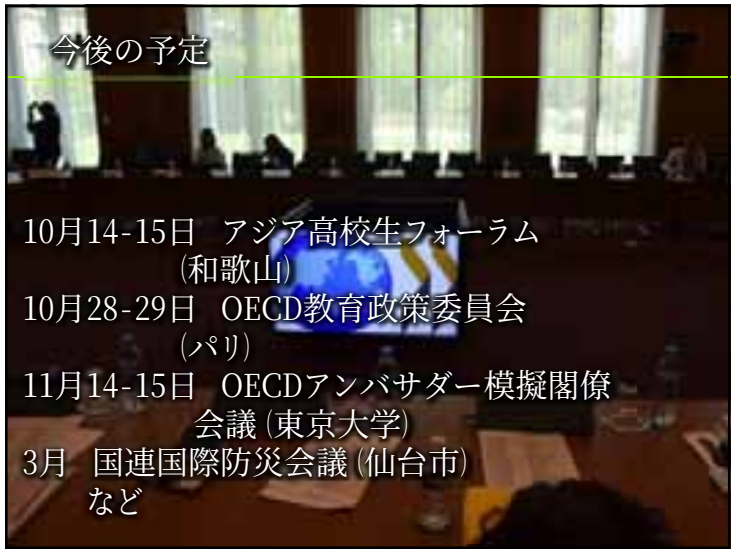
エンディング
想定以上の大成功。生徒リーダーを胴上げ。

桜の植樹
9月2日、桜の植樹。OECD本部中庭に1本の東北
の桜が植えられた。

桜の植樹
来年、震災に耐えた本当の被災地の桜をもう一本
植える！　プロジェクトはまだ続く。

レセプション
バーバラ前OECD教育局長。ミッションを発した張
本人。ドイツから生徒達に会いに。

生徒大人合同熟議
「私たちの学校、私たちの未来、2030年の学校」を
テーマに、プランを練る。


今後の予定
10月14-15日　アジア高校生フォーラム
（和歌山）
10月28-29日　OECD教育政策委員会
（パリ）
11月14-15日　OECDアンバサダー模擬閣僚
会議（東京大学）
3月　国連国際防災会議（仙台市）
など